

これまでの『市役所庁舎の建設・整備に関する調査・研究特別委員会』  
および『市役所庁舎に関する特別委員会』の概要

● **第1回 平成26年2月14日**

1. 庁舎建設・整備にあたっての基本的な視点

- ① 市民の財産・生命を守るため、危機管理機能をしっかりと本庁舎に組み込んでいく。
- ② 「公用施設」として、地方行政の基幹業務を適切に遂行するとともに、市民サービス拡充のための機能充実を図る。
- ③ 「公用施設」だけに留まらず、まちづくりの一環として、庁舎の存在意義や機能を考える。

2. 今後の庁舎の在り方に関する基礎調査

	現行	既存建物長寿命化		現地建替		移転建替	
		現状維持	増築拡張	現状踏襲	機能拡張	現状踏襲	未来志向
延床	9,130 m <sup>2</sup>	10,000 m <sup>2</sup>	13,000 m <sup>2</sup>	13,000 m <sup>2</sup>	16,000 m <sup>2</sup>	13,000 m <sup>2</sup>	18,000 m <sup>2</sup>
階層	3階	3階・5階	3階・5階	5階	5階	5階	10階
概算		30億円	41億円	62億円	70億円	62億円	80億円

※移転建替の概算費用は、土地売却費を含まず。

● **第2回 平成26年5月7日**

1. 現庁舎の耐震機能

- 震度6強の地震を想定した耐震診断では、『議場棟2階』と『西別館5階』が「補修による使用が可能」であり、その他の箇所では「倒壊・崩壊の危険あり」となっている。

2. 庁舎のライフサイクルコスト

- 31年LCCで、約73億円～約113億円。(最も低廉なものは、市有地利用移転建替)
- 61年LCCで、約165億円～約186億円。

● **第3回 平成27年5月1日**

1. 庁舎に関する庁内検討会議の設置

- 現庁舎を「耐震化」しても、「狭隘化」および「分散化」の課題は解決されないため、**建替るべき**との結論。

2. 建替場所の提案と集約

	1	2	3	4	5	6	7	8	9
理事者提案	現在地	現在地 +隣地	市民会館 +隣地	サンメイツ 1番館	サンメイツ 1・2番館	末広 公園	消防跡地 +周辺	深野北 小跡地	北条公 社跡地

委員会集約	<b>現在地</b>	×		<b>サンメイツ</b>		<b>末広公園</b>	<b>消防跡地 +周辺地</b>	×	×
-------	------------	---	--	--------------	--	-------------	----------------------	---	---

## ● 第4回 平成28年2月2日

### 1. 新庁舎整備の視点

- ① 良好な市民サービスの提供 ～より便利、より快適な庁舎～
- ② 財政支出の抑制 ～中長期的な財政負担の軽減～
- ③ 複合化 ～官民連携と多機能型庁舎～

### 2. 新庁舎の規模設定

- 基準面積（総務省・国交省基準） 約14,500㎡
- 付加機能面積 + 複合用途面積 約3,500㎡
- 合計 約18,000㎡

### 3. 各候補地の比較検討

1	2	3	4	5
現在地	現在地+隣地	サンメイツ	末広公園	消防跡地+周辺地

## ● 第5回 平成28年3月11日

### 1. 新庁舎整備の視点を踏まえた各候補地の比較検討(代表的なもの)

	現在地	現在地+隣地	サンメイツ	末広公園	消防跡地+周辺地
良好な市民サービスの提供	駅から少し離れるため 官民連携が実施可能か？		建築可否は 区分所有者 と調整要	都市計画 公園廃止の 適否	1フロア面積 の狭隘
財政支出の抑制					
複合化					
費用合計(概算)	約99億円	約76億円	約89億円	約64億円	約84億円

### 2. 他の自治体の事例 (略)

### 3. 庁舎整備に関する今後の進め方について (案)

- 整備により、さらなる市民サービスの向上が期待される。また、膨大な整備費用が必要となり、将来に渡り市民負担が増大。
- しかし、行政の資源・財源・ノウハウには限界。



### 『民間の力を活用した官民連携事業の推進』

現在候補となっている土地を活用した庁舎整備について **事業提案を募集!**